

Do CL Column

パワーアップして
—CL を実践し続ける生徒さん—

香菜恵



結婚生活

2020/7/31

私は7月のコロナ禍に入籍しました。

一年前、仕事帰りに歩いていたら、自転車屋さんのお兄さんににこりと挨拶されました。大変驚きましたが、私もにこりと挨拶しました。

毎日挨拶していたら、「ご飯に行きませんか」と言われ、何回かデートして、付き合い出しました。男の人と付き合うのは初めてではなかったけれど、緊張して毎日かなり疲れていたのを覚えています。私が自身のバランスを保つ為にやったことは、いつも通り仕事に休まず行き、家事をし、ご飯を作って食べることでした。

自転車屋さんはレースにも出ます。応援に行ったり、サイクリングをしたり、私はいつにも増して行動的な生活を送っていました。

実家に挨拶と一緒に言って欲しいと言われ、4月に一緒に行く予定でしたが、そこで現れたのがコロナという今までにない事態でした。

仕事も一時は休みとなり、何処にも遊びに行けなくなり、沈んでいました。が、籍を入れる前に一緒に暮らすことになり、コロナ禍の状況に順応し、どれだけそれに対応した積極的な生活をするかだと思い、料理をとにかく頑張りました。ハンバーグやグラタン、煮物や餃子など、なんでも作ってみました。

旦那さんのしてくれてることに、感謝の気持ちを持って、1つ1つありがとうございます。

県またぎがOKになった7月、旦那さんのご両親に結婚の承諾を貰いに行き、無事入籍した後、前よりずっと何か、パワーアップした自分に気づきました。

触れずに書こうかとも思いましたが、病気の私が結婚出来るのだろうかとか昔から不安に思っていました。でも、私の様に病気があっても、受け入れてくれ、理解してくれて一緒に頑張ろうと言ってくれる男性はいるのだと分かりました。

大切なのは、心だって身体だってどこかにハンデがあっても、前を向いてどんどん外に出て行くことだなあと気づきました。

そもそも、欠点の無い人間などいないのですから、長所や良い部分を沢山見つけて、自分を楽しんでいることで、世界は無限に広がるのだとも、気づきました。

ここまで来れたのは、多くの人々の支えがあったからで、それを思うと、これからも頑張ろうと旦那さんの帰りを待つ初夏の夕時です。

9/24

旦那さんの家に引っ越して、もうすぐ半年が経つ。旦那さんは非常にしっかりきっちりしていて、まめだ。なので、ズボラな私は結構合わせるのに苦戦もする。

料理などは、旦那さんの方がずっと知識があるので、教わりながら作る。

何か取ってもらったら、私は「ありがとう」と言う。旦那さんもよく「ありがとう」を言う人だ。

これから先も、「ありがとう」を忘れずに言うようにしたい。

何方かと言えば田舎にある家なので、虫が入って来ることもある。

玄関を開けたら、臭くて臭くてたまらない日があった。トイレ？それとも何か腐った物を置きっぱなしにしたのかな？！

物凄い臭さだけれど、原因が分からない。なんだろう。なんだろう？！と困ったまま悩んでいた。

すると、旦那さんが笑いながらリビングに戻って来て、犯人が分かったよ。と言った。なんと亀虫が玄関の自転車に、付いていた。

五感を使い、良く観察してみないと、解決しない事件だった。

つつい頭でっかちになるのがわたしの常で、ソファーにどっかり寄りかかり、体重をかけるのが癖。癖とは中々厄介だ。いくら変えようとしても34年の月日がかえって邪魔をする。だから、五感を意識的に意識する。

朝焼いたパンの匂いは、どんな匂い？

夜に外で鳴いているのは、カエル？鈴虫？

お風呂を良く見て、随分汚れて来た。タワシを買ってゴシゴシ洗おう。洗うのは楽しくなくていいけど、洗った後を見るのは嬉しい。

涼しくなって来たから、そろそろシャワーをやめて湯舟をはろうか。想像しただけで気持ちが良い。


冷蔵庫にあるキャベツの葉っぱを触ると、春よりは固い気がする。春キャベツとは違う。

感じるのは、生活。生活は私の元気の印。感じた分だけ、私を感じられる。

あれだけ分かろうと頭で考えても上手く感じられない自分が、物や景色を確かめることで実感出来る不思議。

力を入れることはなく、ただただ注意深く小さなことを見過ごさず、私は味わう様に言い聞かせる。

ソファーで大それた何か空を切るより、ずっと本当に求めていることが分かる。(千葉県千葉市)

 [目次へ戻る](#)